

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	教育委員会事務局	児童保育課（放課後対策担当）
施設名称	(42) 東京都台東区立今戸児童館	指定管理者
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間
		H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。
(2)	[所在地] 台東区今戸1-3-6 [規模] RC3階建 事務室・遊戯室・工作室・図書室・音楽室・事務所等 今戸こどもクラブ併設
(3)	[委託事業] ①児童の福祉を目的とする事業 ②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 ③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと ④その他、児童館の目的達成のために必要な事業 [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日除く）：午前9時30分～午後6時 一部開放 休館日：年末年始、祝祭日（5月5日は開放）
(6)	[人員体制] 常勤職員4名、短時間職員4名、アルバイト等1名

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	43,085,000	38,007,919	39,904,000	37,395,877
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（イベント参加者からの実費徴収等）	0	17,950	0	22,300
	計	43,085,000	38,025,869	39,904,000	37,418,177
支出	人件費	37,713,000	32,417,966	34,244,000	32,886,587
	光熱水費	1,556,000	1,259,931	1,620,000	1,167,652
	維持管理費（委託料・賃借料）	1,274,000	1,023,515	1,728,000	805,003
	修繕費	650,000	100,332	300,000	417,690
	事業費	715,000	1,767,849	747,000	1,271,853
	その他支出	1,177,000	1,456,276	1,265,000	869,392
	計	43,085,000	38,025,869	39,904,000	37,418,177
収支			0		0

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
開館日数	日	333	334	331	332
事業実施回数	回	1,200	829	1,104	1,124

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用者数	人	36,000	20,822	32,355	35,516
利用登録者数	人	800	713	846	717

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

「ちびっこボランティア・エプロン隊」などの異世代交流活動に力を入れるとともに、工遊具や図書の充実を図り、中高生も含めた幅広い利用者が過ごせる工夫を行った。

**6. 評価の観点**  
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)  
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令や規範を遵守して公の施設として適正に管理を行っていた。労働環境面でも就業規則を作成し職員に周知、また出退勤簿を適切に管理・把握するなど安定した環境の確保に力を入れている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	中高生世代を対象とした事業・活動を活性化させたことで、目標を上回る利用者数を達成させるなど、事業を円滑かつ順調に展開している。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	区と連携・調整のもと、基準書に基づきながら床材の張替対応などで適切に対処した。全体として安全・安心な環境を確保するために施設の維持管理に尽力している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	昨年度の利用者アンケートで意見・要望があった事項や、満足度が低かった事項については、例えばおたよりを工夫して読みやすくするなどの改善策を講じ、積極的にツールとして活用した結果、利用人数の増加につながった。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	窓側のすだれ掛け、玄関前の朝顔育成による緑のカーテンなど、日常の省エネ策により経費節減に努めるなどしている。また、予算の範囲内で適切に執行した。

(6) 優れた取組み <b>《加点点目》</b> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
<b>点</b>	

**7. 総合評価** 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

<b>良好</b>	【所見】 異世代交流活動や中高生をターゲットにした企画を実施することで、中学生世代の利用者を大幅に増やした。それ以外にも様々なイベントを実施し、楽しむ場であるとともに児童の心身の成長の場ともなり、施設として児童の健全な育成に大きく貢献した。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】
( 100 / 110点)		